

第4章 基本構想

将来像	暮らす、生きる。阿智家族 (住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくり)	
横断的施策大綱	【定住人口の確保・維持】 まち・ひと・しごと人口ビジョンの計画に沿い、10年後に人口6,200人の維持をめざします。 医療、福祉の充実など安心した生活と、地域力、観光を基に交流人口を増やし、よりよい人口構成をめざします。 ■ 移住・定住施策の充実 ■ 婚活事業 ■ 医療・出産子育て施策の充実	【人づくり・健康づくり・地域力】 ふるさとを愛し、健やかで心豊かに幸せな人生を送れる人づくりをめざし、教育、健康、福祉を充実させます。 また阿智村は8つの地域から成り立っており、各地域の活力を高める事により、持続可能な村づくりをめざします。 ■ 健康増進活動の充実、支援 ■ 地域愛を育む教育 ■ 自治活動の充実、支援
(めざす姿) 基本目標	1 暮らし・いきがい・協働 住民一人ひとりが主体となり、協働の村づくりをめざす。	2 教育・文化・地域愛 ふるさとを愛し、夢を描いて、心豊かな人生を送れる村をめざす。
施策の大綱	1-1 移住定住促進 1-2 地域力・集落維持 1-3 住民主体の協働の村 1-4 全村博物館構想 1-5 情報の地域発信 1-6 健全で持続可能な行財政運営	2-1 地域で育む子育て支援 2-2-1 明日を生きる力を育む学校教育 (学校教育) 2-2-2 明日を生きる力を育む学校教育 (阿智高校の存続と発展) 2-3 子どもが健やかに育つ保育園 2-4 社会教育の充実 2-5 スポーツで育む健康、交流 2-6 文化活動と地域文化の振興

阿智家族として語れる夢があること、支えあえること、分かち合う場所があること、明日を楽しみに眠れること。

阿智に暮らすということは、住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくりにより村ごと大きな家族になること。

日本一の星降る郷であるだけでなく、全てのひとの心のふるさととして人も星も輝く村をめざします。

【阿智ブランドの確立】

日本一と呼ばれる星空、はなもも、そして昼神温泉を有する当村は、歴史、地域資源の宝庫です。これらを活かして多分野にわたり、全国に向けて力強い阿智ブランドを確立させます。

- 観光ブランド力強化
- 農産物付加価値
- 産直市場計画
- 特産品・技術開発

【まちづくり計画】

将来のまちづくりの個別計画として、10年後、20年後の村の姿を模索していく必要があります。また、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道延伸の整備が南信州エリアで進んでいます。これらの工事対応や開通後を見据えた地域振興戦略、幹線道路計画等、まちづくりの観点から重点的に取り組みます。

- 公共交通の充実
- わいWai公園周辺計画
- 役場周辺計画
- 昼神温泉計画
- リニア・三遠南信道開通将来ビジョン

3 医療・福祉・健康

だれもが健康でしあわせに暮らせる村をめざす。

3-1 医療体制の充実

3-2-1 地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり（地域福祉）

3-2-2 地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり（高齢者福祉）

3-3 障がい者の自立支援

3-4 あち健康プラン21の推進

4 産業振興・雇用創出

観光を基軸とした産業振興を通じて、雇用創出・阿智ブランドの確立をめざす。

4-1 観光を基軸とした産業振興

4-2-1 阿智の特色を生かした農業振興（農業の振興）

4-2-2 阿智の特色を生かした農業振興（有機活用農業の推進）

4-3 里山の風景を残す林業振興

4-4 地域に根差した商工振興

5 環境・防災・安心

安心安全に暮らせる環境づくりと、人と自然を大切にしたい絶景の村をめざす。

5-1 美しい景観の保全と創出

5-2-1 水資源の確保・保全（上水道）
5-2-2 水資源の確保・保全（下水道）

5-3 自然エネルギーの創出

5-4-1 安心して暮らせるしくみ（生活基盤の整備）
5-4-2 安心して暮らせるしくみ（防災・交通安全）

5-5 充実した公共交通
5-6 リニア中央新幹線対応



宿場町駒場

第1節 村づくりの将来像

暮らす、生きる。阿智家族

（住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくり）

阿智家族として語れる夢があること、支えあえること、分かち合う場所があること、明日を楽しみに眠れること。

阿智に暮らすということは、住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくりにより村ごと大きな家族になること。

日本一の星降る郷であるだけでなく、全てのひとの心のふるさととして人も星も輝く村をめざします。



第2節 横断的施策大綱

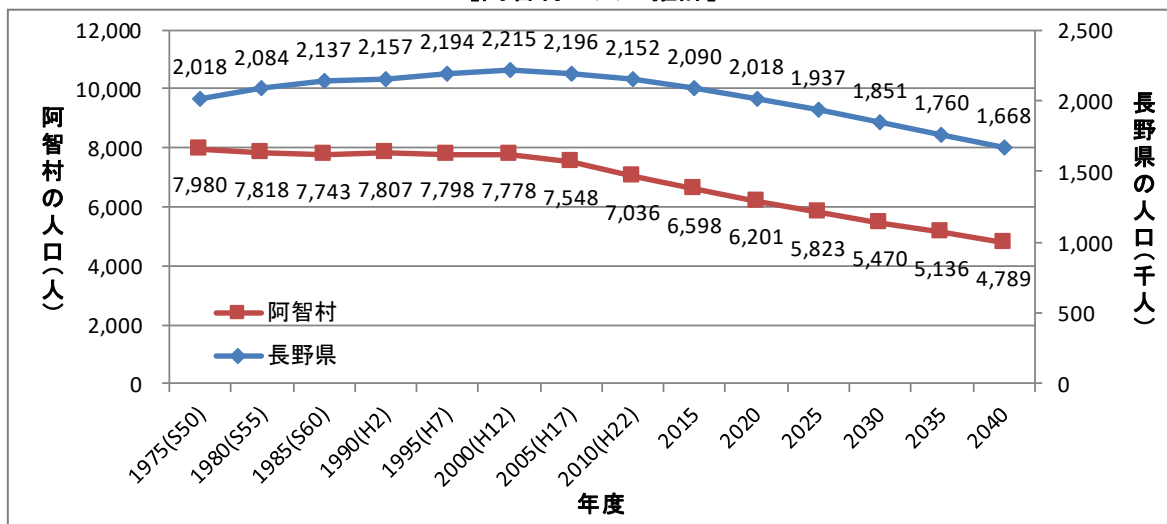
1 定住人口の確保・維持

2015（H27）年度に策定した、「まち・ひと・しごと人口ビジョン」の計画の中で、人口を維持していくキーワード、「交流人口の増」「地域力」「安心安全な暮らし」を当村は掲げ、村づくりに取り組んでいきたいと思っています。教育から始まり、健康福祉、産業振興など全ての政策が充実する事によって、定住人口の確保につながっていくものと感じています。

「阿智家族」の言葉どおり、村ごと大きな家族で、地域を支える子供たちを育て、皆で助け合い、支え合う地域づくりをめざします。



【阿智村の人口推計】



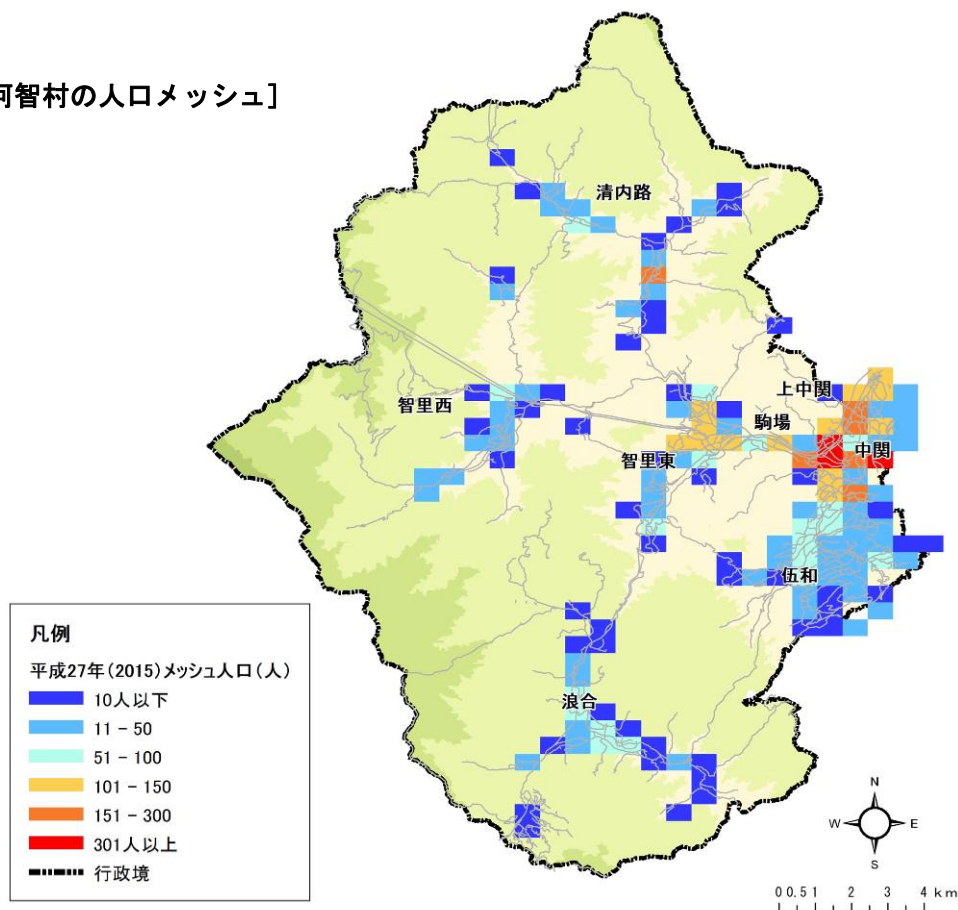
阿智村のめざす姿①

阿智村の人口はこのままいくと30年後の2045年には66%まで減少することが見込まれています。地区の人口減少は、住みやすさに少なからぬ影響をもたらします。村内各地域の保育園、学校、各種機能を維持すること、農業、景観保全、地域のお役など、人口はあらゆる場面で生活のあり方、地域のあり方を決める大きな要素です。そこで本計画では30年後に現在の人口の80%を維持することを目標としました。

2012（H24）年から始まった「スタービレッジ阿智」の取り組みは阿智村の知名度を一気に向上させました。星という阿智村の自然環境を活用した取り組みであり、「星ふるさと」をキャッチフレーズに、すべてのひとの心のふるさととして人も星も輝く村をめざします。

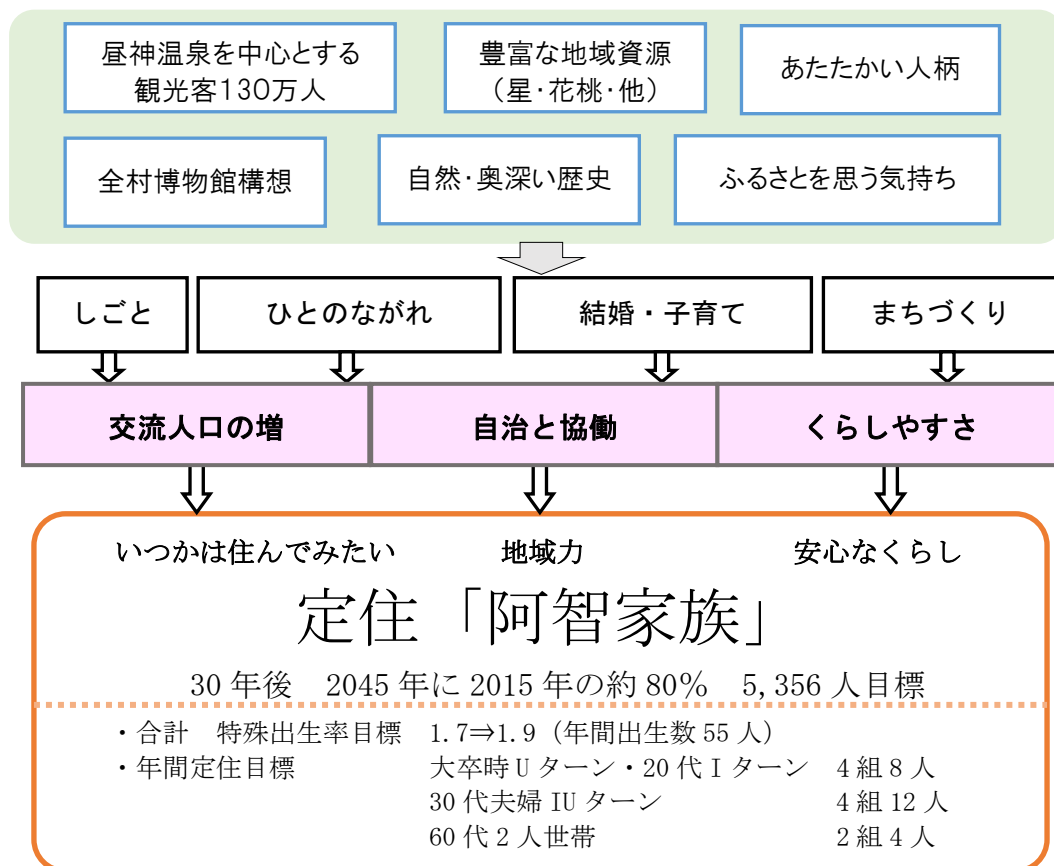
またスタービレッジ阿智によって、阿智村を訪れる観光客は増えています。この交流人口の拡大を阿智村の定住人口の増加に結びつけるためにも、住み続けたい、住み続けられる村であることと、定住者を迎え入れる体制があることが必要です。これまでも阿智村では、住民のみなさんによる定住者受入れのための取り組みが行われてきました。また村としても定住支援センターを設置し、移住促進に努めてきました。今後も「暮らす、生きる。阿智家族」をスローガンにさらなる定住促進に取り組めます。

[阿智村の人口メッシュ]



阿智村のめざす姿②

星ふるさと ～人も星も輝く村に～



2 人づくり・健康づくり・地域力

将来の阿智村を担う子どもたちの教育は欠かすことのできない、非常に重要な分野であります。

「あちっ子ライフ」に代表される基本的な生活習慣を育む教育、地域で育った子どもから大人までが学習できる社会教育、公民館活動も含めて、人づくりに力を入れたいと考えています。又、健康、福祉、医療の社会保障の充実は、私たちの暮らしに最も大切だと考えます。

その中で私たちは、8つの地域から、それぞれが特色を出し、助け合って生活しており、各地域が輝き、地域力を高めていくことが村の発展につながります。



人づくり 地域愛を 育む教育

星空に代表される地域資源の大切さ

星空を村内外にPRするのは、観光のためだけでなく教育のためでもあります。

子どもたちが日本一の星空を見て自分の住む地域に誇りを持ち、将来の村を支えてくれる人財になるように、地域資源を活かしていきます。



6つの保育園5つの小学校



各地域に保育園や小学校が存在することで、それぞれの地域が元気で活力あるコミュニティが形成されると感じます。子どもたちが地域の素晴らしさや歴史を知り、地域を愛する気持ちを持つことが将来の阿智村を支えていくことにつながります。子育て支援から始まり、地域で子ども達を育てる土壌の構築をめざします。

あちっ子ライフ

2011（H23）年に村の子どもたちに生活指導を含めて提唱された「あちっ子ライフ」。この運動が地道に実を結び、元気で健やかな地域を愛する子どもたちに育っています。家庭で、地域で育てながら子どもから大人までが成長する「あちっ子ライフ」のグレードアップをめざします。



若駒アカデミー・神坂塾

阿智村のそして西部地区の地域高校として阿智高校の存続は、大変重要な課題です。

高校では神坂塾や地域政策コースで特色を出しています。また中学校では、2017（H29）年度から3年生を対象に若駒アカデミーを開講しました。今後子どもたちの学力向上に力を入れていきます。

チャレンジゆうAchi

スポーツ、文化活動を自主的に企画し、運営しているチャレンジゆうAchiは村民の元気の源となっています。幅広い世代が継続的に取り組める環境を整備し、地域内の交流・健全育成が図れる村をめざします。

健康づくり 健康増進 活動の充実

私たちが安心して暮らすためには、健康でいきいきと生活することが第一と考えます。阿智村では以前から健康増進に力を入れ、年代ごとのプランを立て、グループで楽しく学習しながら健康運動を行っています。合わせて、医療体制にも力を入れ充実させることで、安心安全な村をめざします。



あち健康プラン21の推進

本計画は、年代別に村民の健康課題を明らかにし、その課題解決のための行動計画を示した村の保健計画です。2020年度の計画期間に向けて、庁内や関係機関との一層の連携を図り、村民の健康づくりを支援します。

認知症サポート充実

今後最も力を入れている課題の一つが「認知症」対策です。認知症支援チームが発足し、相談体制の強化や認知症カフェなど、きめ細かな対策に取り組めます。



医療体制の充実・ 充実した健康診断補助

私たちが安心した生活を送るため医療体制の充実には欠かす事ができません。飯伊地区の医療機関との連携を深め、包括医療、訪問看護と合わせた体制を整えます。又、健康診断補助の充実を図ります。

地域力 自治活動の 充実・支援

阿智村には、8つの自治会組織それぞれが独自の活動を行い、輝いて、いきいきと生活しています。各地域が元気で発展する事が村全体の活性化につながるため、協働の村づくりを進めます。



協働の村づくり

住民主体の協働の村づくりを掲げ取り組んできました。住民自らが知恵を出し合い、工夫しながら行動してきました。今後も、よりよい村づくりを提案し、行政と協働しながら平和で明るい未来を作っていくことをさらに進めます。

さかんな公民館活動・社会教育

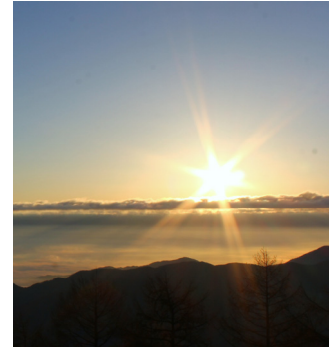
阿智村においても、飯伊地区においても公民館活動の理念は、私たちの地域づくり、学習の場として重要な位置づけであります。社会教育研究集会も50回を越えさらに子どもから大人までが学習する場を作っていきます。

3 阿智ブランドの確立

日本一の星空と花桃といで湯の郷

日本一と呼ばれる星空、花桃、そして昼神温泉を有する阿智村は、歴史・地域資源の宝庫です。これらを活かして多分野にわたり、全国に向けて力強い阿智ブランドを確立させます。

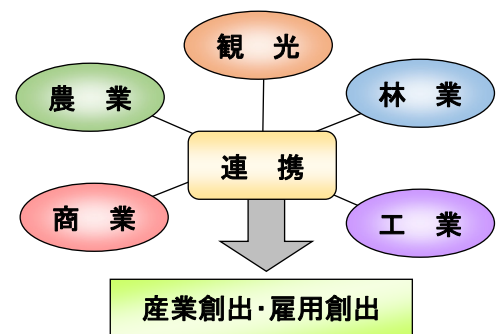
特に産業振興にしっかり活かすことで村内の経済の発展を進めていきます。



観光を基軸とした産業の振興

130万人の観光客が訪れる阿智村。全ての産業が連携して外貨を稼ぎ、新たな産業を生み出し、経済の発展や雇用創出につなげていかなければなりません。

知恵と工夫で、阿智昼神観光局や産業振興公社、商工会、J A、森林組合等の特徴を生かし、連携を図っていきます。



農業の推移

	専業	兼業	総数
1965 (S40) 年	122	911	1,033戸
1990 (H2) 年	54	713	767戸
2010 (H22) 年	49	724	773戸
2015 (H27) 年	82	647	729戸
2015 (H27) 年	8億8,000万円		農業産出額

観光の推移

全体利用者数	※2013 (H25) より
2003 (H15) 年 134万人	星空ナイトツアー
2007 (H19) 年 128万人	満蒙開拓平和記念館
2010 (H22) 年 127万人	2013 (H25) 年 5万人増加
2015 (H27) 年 124万人	2014 (H26) 年 6万人増加
観光消費額	2015 (H27) 年 9万人増加
2016 (H28) 年 50億円	2016 (H28) 年 16万人増加

工業の推移

	事業所数	製造品出荷額等
1985 (S60) 年	53	223億円
2003 (H15) 年	25	136億円
2010 (H22) 年	25	83億円
2014 (H26) 年	24	155億円

商業の推移

	事業所数	商品販売額
1985 (S60) 年	89	33億円
1990 (H11) 年	93	60億円
2007 (H19) 年	97	45億円
2014 (H26) 年	77	40億円

(株) 阿智☆昼神観光局の役割

観光業者に限らず、商工業者、農業者が株を持ち、地域と一体となって、地域振興をめざす観光局。DMO組織として全国からも注目されており、新たな展開で様々なしかけをしていきます。産業の発展、雇用の創出に民間のノウハウで取り組みます。



(社) 産業振興公社の役割

阿智村全体の農業の底上げのため、少量でも受け入れ、地元や中京方面に販売しています。同時に阿智村のPRの一躍を担っています。

農業を通じての地域振興、後継者の育成に力を入れていきます。



阿智村イメージアップ戦略

日本一と呼ばれるブランド

星ふるさと阿智村・阿智家族



「スタービレッジ阿智」として星空の事業を全国に先駆け展開しており、2017（H29）年には環境大臣賞を受賞しました。又、1万本が村内に咲く「花桃」は地域おこしのシンボルです。さらに清内路の手づくり煙火や東山道など地域資源の宝庫です。

「阿智村」のブランドを高めるため、C I戦略として「星ふるさと阿智村」「阿智家族」をキャッチコピーとし、全国にPRしていきます。



産直市場の研究

検討委員会では小規模な産直市場から、道の駅としての大規模な施設を想定し、マーケティングを行い、研究しています。新しい産業集積の目玉として、大きな期待がもたれています。

阿智村の農業の活性化を図り、多くの観光客の消費も含めて、他産業創出と合わせて産直市場の建設を考えていきます。

災害のない
美しい里山へ

観光地らしい美しい村をめざすため、里山の整備は欠かす事ができません。同時に災害対策を含めた広葉樹の植樹により、美しい里山をめざします。

あち有機いきいき堆肥
遊休農地の活用へ

阿智村のブランド堆肥を使って栽培された野菜は大変おいしく好評です。定番のきゅうり、トマト、浪合のとうもろこしはブランド品、清内路、智里西のみょうがは飯伊地区の出荷の7割を占めます。一方で遊休農地も増えている課題もありますが、活用に向けて取り組みます。

特産品、技術開発

阿智村ならではの特産品を研究し、新たな技術開発を生み出していく取り組みを進めていきます。

商工会と連携し、日本へ、世界へ向けたブランドを期待します。

～ 飯伊地区は
航空宇宙産業へ ～

飯伊地区は航空宇宙産業を中心に展開していますが、阿智村の企業にも期待されるところです。

< 南信州広域連携 >

10年後には、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道が開通し日本の交通の要所となりうる南信州。自然豊かな日本の田舎が体験できる場所です。

阿智村は伊那谷最大の温泉地、昼神温泉郷を持っており、観光面では中心地としての意識を持ち、それぞれの市町村が特色を出し、2泊から3泊以上できる滞在型観光地の確立、発展をめざしていきます。

4 まちづくり計画

将来の村づくりの個別計画として、10年後、20年後の村の姿を模索していく必要があります。

また、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の整備が南信州エリアで進んでいます。

これらの工事対応では住民生活や経済活動等への影響を軽減するべく、関係機関とともに十分な対応を求め、必要な対策を講じ、開通後を見据えた地域振興戦略、幹線道路計画等、環境に配慮したまちづくりの観点から重点的に取り組みます。



リニア・三遠南信将来ビジョン リニア工事対応



10年後のリニア・三遠南信自動車開業を見据え、全国から南信州や阿智村を訪れる多くの観光客の拡大、そして定住へとつながるまちづくりを進めていきます。

私たちが安心して生活していく上での対応はしっかり関係機関と協議します。特に二次交通の重要さを前面に、リニア長野県駅から阿智村、そして岐阜県駅へとつながるバスの運行、飯田南バイパスの早期開通に向けて取り組みます。

公共交通の充実



住民アンケートによると、公共交通に対して不満の声が多く、意見を聞きながら改善していかななくてはならないと感じています。

当村は鉄道が走っていない為、バスやタクシーに頼らざるを得ないが、時間帯の工夫やバスの増便、コースの見直しをしていかななくてはなりません。

2018(H30)年度からは本格的に乗り合いタクシーの導入も検討しており、地域公共交通協議会や様々な立場から意見を聞いて取り組みます。

星が美しく環境の素晴らしい 絶景の村へ

環境に配慮した美しい村を目指し、村民が気持ちよく生活でき、観光客が気分よく遊覧できるように村全体で取り組んで参ります。又、家庭、学校、職場でそして地域で取り組むシステム、運動を展開していきます。

食べ残しのごみ減量、里山整備、花いっぱい運動と合わせ、自治会と協力しながら進めて参ります。

昼神温泉の未来

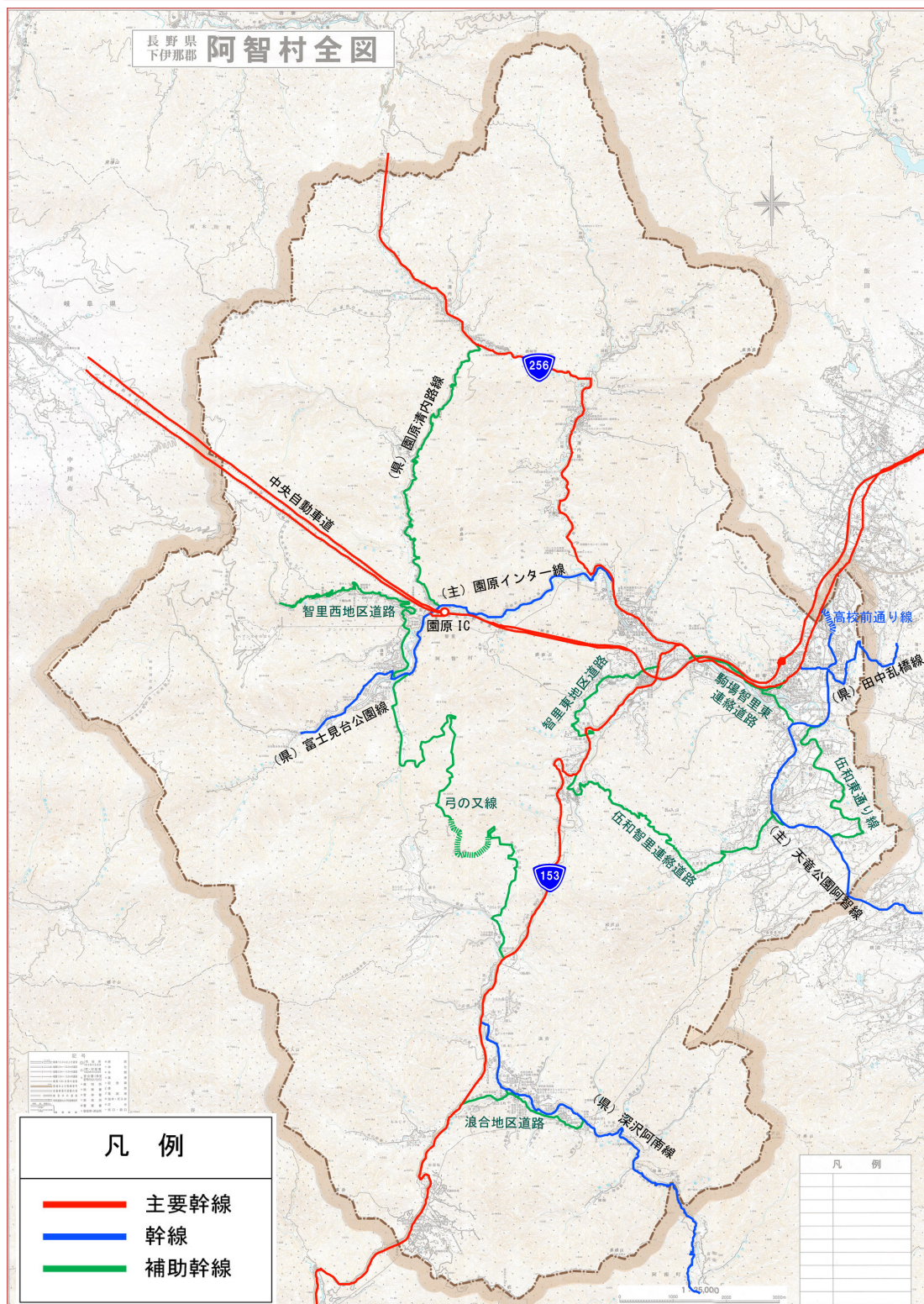
1973(S48)年に出湯した昼神温泉も約45年が経過し、新しい温泉像として、「昼神温泉将来構想検討委員会」を進めています。

コンセプトとして、「天の川、地の川、歩いて楽しめる温泉街」「環境に配慮した温泉地」などの意見が出ており、特に阿智川や梨子野沢川、井水を利用した散策コース、産直市場など買い物ができるゾーン、バスターミナルなどを今後検討して参ります。



村の幹線道路計画

2017（H29）年度に実施した「建設幹線道路整備計画審議会」を開催しており、各地域の道路事情、まちづくりについて検討しています。どの地域も災害用道路の確保、歩道の確保が急務との意見が出されました。又、それ以前に道路の実情を村民が知るべきとの意見があります。

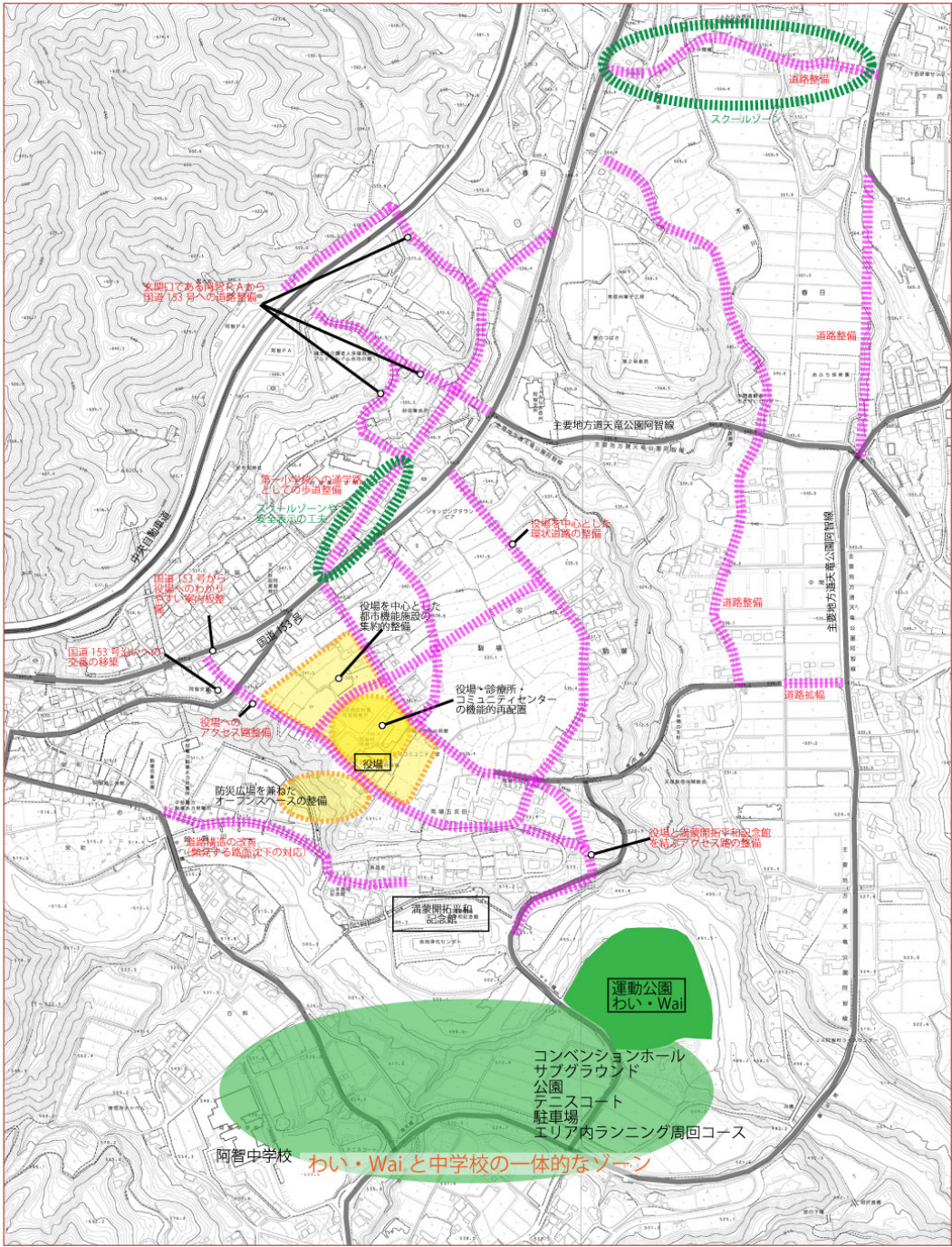


将来の役場周辺・わいWai公園周辺計画 審議会案

2017（H29）年度に実施した「建設幹線道路整備計画審議会」の中で、特に意見が多かった点が、役場周辺の道路が狭く、通学路とあわせて歩道が早急に必要との点、そしてスポーツや子育ての観点から、わいWai公園周辺の充実が意見として出され、審議会の中で検討してきました。

これらの地域の実情の図と、将来の理想図を合わせて基本計画の中に検討材料として提示させていただきます。

これらの地域の実情の図と、将来の理想図を合わせて基本計画の中に検討材料として提示させていただきます。





古代東山道を偲ぶ丘(中関合社)

第3節 基本目標

将来像『暮らす、生きる。阿智家族』の実現に向けて、次の5つの基本目標を掲げます。

1 くらし・いきがい・協働

住民一人ひとりが主体となり、協働の村づくりをめざす。

家族が互いに支え合うように、村に住んでいる一人ひとりが、阿智村の住人であることに誇りと生きがいをもって暮らせるよう協働の村づくりに取り組みます。

- 1-1 移住定住促進
- 1-2 地域力・集落維持
- 1-3 住民主体の協働の村
- 1-4 全村博物館構想
- 1-5 情報の地域発信
- 1-6 健全で持続可能な行財政運営

2 教育・文化・地域愛

ふるさとを愛し、夢を描いて、心豊かな人生を送れる村をめざす。

阿智村の子どもたちが、地域の愛情の中で育ち、いつまでもふるさとを愛する気持ちを持ちながら、心豊かな人生を過ごせる環境をつくります。

教育では、多様な時代や社会に対応できる学力や体力を身につけ、志や夢を描いて自己実現ができる環境整備に努めます。

スポーツや地域文化の振興、交流を通じて、子どもからお年寄りまで健康で文化的な生活が送れるとともに、村の伝統・文化の保持、継承を支援します。

- 2-1 地域で育む子育て支援
- 2-2-1 明日を生きる力を育む学校教育（学校教育）
- 2-2-2 明日を生きる力を育む学校教育（阿智高校の存続と発展）
- 2-3 子どもが健やかに育つ保育園
- 2-4 社会教育の充実
- 2-5 スポーツで育む健康、交流
- 2-6 文化活動と地域文化の振興

3 医療・福祉・健康

だれもが健康でしあわせに暮らせる村をめざす。

全ての人が、心身ともに健やかで安心して暮らしていけるように、関係機関と連携しながら、個人や年代に応じた生活習慣の改善や健康増進による病気の予防など、健康づくりを促進します。

3-1 医療体制の充実

3-2-1 地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり（地域福祉）

3-2-2 地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり（高齢者福祉）

3-3 障がい者の自立支援

3-4 あち健康プラン21の推進

4 産業振興・雇用創出

観光を基軸とした産業振興を通じて、雇用創出・阿智ブランドの確立をめざす。

「スタービレッジ阿智」など観光分野をさらに推進するとともに、拡大する交流人口を村内各所・各分野へ波及させるよう連携を図ります。また農業や林業では、担い手の確保支援や先端技術の導入支援に努めるとともに、阿智ブランドのさらなる確立とこれを活かした産業振興をめざします。

4-1 観光を基軸とした産業振興

4-2-1 阿智の特色を生かした農業振興（農業の振興）

4-2-2 阿智の特色を生かした農業振興（有機活用農業の推進）

4-3 里山の風景を残す林業振興

4-4 地域に根差した商工振興

5 環境・防災・安心

安心安全に暮らせる環境づくりと、人と自然を大切にした絶景の村をめざす。

阿智村は、日本で最も星が見える空と緑豊かな自然が美しい村です。この美しい自然環境を守り育てるとともに、省エネルギー化の推進、自然エネルギーの利活用を通じて環境負荷を軽減するとともに、美しい村づくりを進めます。

防災・減災対策に加え、家庭・地域・行政が互いに協力しながら、災害に強いむらづくりを進めます。危機管理、消防・救急体制の充実や、事故や犯罪などから住民の生命や財産を守り、安心して暮らすことができるむらづくりを進めます。

また、身近な生活道路の整備や適切な維持・管理、公共交通の利便性向上などにより、住民の生活を支える交通ネットワークの充実を図ります。

さらに、リニア中央新幹線が 10 年後の開業を目指して本格的に工事が行われます。村内でも工事に関連し、関係機関と協議しながら工事の安全性や環境保全に対応するとともにリニアを活かした村の活性化に取り組みます。

5-1 美しい景観の保全と創出

5-2-1 水資源の確保・保全（上水道）

5-2-2 水資源の確保・保全（下水道）

5-3 自然エネルギーの創出

5-4-1 安心して暮らせるしくみ（生活基盤の整備）

5-4-2 安心して暮らせるしくみ（防災・交通安全）

5-5 充実した公共交通

5-6 リニア中央新幹線対応